

# ウォーキング：白神の新緑縫い 世界遺産20周年記念行事に90人 ／秋田

毎日新聞 5月20日(月)12時21分配信

2本のポールを使いながら歩く「第1回秋田白神ノルディックウォーキングin白神」が18、19の両日、能代市の風の松原と八峰町の留山散策コースであった。県内外から約90人が参加、クロマツと新緑のブナ林の景色を楽しんだ。

白神ノルディックウォーキング倶楽部(佐々木昇会長)が白神山地世界遺産登録20周年記念イベントの一環として開催。佐々木会長らを案内役に、18日は風の松原を、19日は白神山地の南端、標高150メートルの留山のブナ林を歩いた。

下半身への負担を軽減でき、長距離を歩けるのが魅力というノルディックウォーキング。留山散策コースでは約3時間歩き、まばゆい新緑を満喫した。

横浜市青葉区の赤間広さん(63)は「自然と触れ合いたいと思って参加した。素晴らしいウォーキングで、楽に自然の息づかいを体感できた」と話した。【田村彦志】

5月20日朝刊



2019.5.20 毎日新聞